

## 令和6年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	佐渡・発生／行動学コース「動物発生／行動学臨海実習」		
実習内容	<p>豊かな自然環境と生物相が残る佐渡島では、多様な海洋生物が様々な沿岸環境に適応しながら生息している。生物の形態や行動、発生のしくみは、その生物の生息環境への適応の結果として進化、発達してきた。</p> <p>本実習では、ヒトと同じ新口動物で卵割様式がヒトに近い棘皮動物バフンウニを用いて、人工受精と胚発生の観察を行うことで、後生動物の発生機構について学修するとともに、各種薬剤処理実験によって、発生におけるシグナル伝達の仕組みと薬剤による環境かく乱の発生への影響について考察する。また、野外における海洋動物の行動観察法や、基礎的な生物実験法についても学ぶ。実習は少人数グループに分かれて行い、最後にグループでの研究観察発表会を行う。</p> <p><u>講義</u>：外部講師による動物の発生および行動に関する特別講義</p> <p><u>生物の形態・発生・行動学実験</u>：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ バフンウニの受精と初期発生の観察</li> <li>・ ウニ初期胚の動物極化および植物極化実験</li> <li>・ 海洋生物の行動および形態の観察</li> <li>・ 岸壁でのたも網を用いた海洋生物の採集と観察</li> </ul> <p><u>発表会</u>：グループでの研究観察結果の発表</p>		
実習内容キーワード	生物機能の多様性、環境適応、発生、行動、シグナル伝達、環境かく乱		
担当教員氏名・所属・役職名	安東宏徳（臨海実験所・教授）、飯田碧（臨海実験所・准教授） 大森紹仁（臨海実験所・助教）、川坂健人（臨海実験所・特任助教）		
協力教員氏名・所属・役職名	1名の外部講師を任用予定。		
対象学生・学年	国公立大学の学部1～4年生 (大学院生も可)	開講期間	2025年3月3日(月)～7日(金) 4泊5日
開講大学・施設名	新潟大学・佐渡自然共生科学センター臨海実験所		
施設の住所	〒952-2135 新潟県佐渡市達者 87		
電話	0259-75-2012	F a x	0259-75-2870
e-mail	hando311@cc.niigata-u.ac.jp	Web Site	<a href="https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/">https://www.sc.niigata-u.ac.jp/sc/sadomarine/</a>
交通案内	新潟港から佐渡汽船を利用して佐渡島に渡り、佐渡両津港にて集合。両津港－臨海実験所間の移動は、実験所がチャーターバスを用意する（無料）。		
費用	実習期間中の食費、寝具クリーニング代および雑費：約9,000円		
授業科目名	臨海実習 II		
単位数	2単位	定員数	約10名
授業料の徴収について	授業料は徴収しない。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	定員を超えた場合は、締め切り後に抽選により決定する。 締め切り日は2025年1月31日（金）。応募書類は期日までに新潟大学理学部学務係へ必着のこと。		
選抜結果連絡法	書面とメールにより本人に直接連絡する。		